

## 3・4 アジア船主フォーラム

### 3・4・1 アジア船主フォーラム総会

第 20 回アジア船主フォーラム (ASF) 総会はアセアン船主協会連合(FASA)の主催により、平成 23(2011)年 5 月 24 日にインドネシア バリ島で開催され、アジア 8 地域、13 船協(日本、韓国、中国、台湾、香港、ASEAN(インドネシア、マレーシア、フィリピン、シンガポール、タイ、ベトナム)、豪州、インド)から 160 名強の代表が参加した。当協会からは宮原会長、武藤・前川・松山・林各副会長、工藤常任理事他が参加した。【資料 3-4-1-1】

ASF は、平成 4(1992)年に第 1 回総会(当協会主催)を開催して以来、メンバー国/地域の船主協会が北から南の順で毎年議長を回り持ちしながら総会を開催しており、毎年の年次総会の際に 5 つの常任委員会(船員、 SHIPPING・エコノミクス・レビュー、船舶保険・法務、航行安全・環境、シップ・リサイクリング)が夫々中間会合を開催している。5 つの常任委員会の構成および各委員会への当協会代表は【資料 3-4-1-2】の通りである。

第 20 回 ASF 総会では、はじめに各常任委員会の個別会合が開催され、主要議題について意見交換を行ったほか、各委員長が全体会合の中で報告する内容(Chairman's report)の最終確認等を行なった。その後開催された全体会合では、冒頭 Johnson W. Sutjipto FASA 会長(第 20 回 ASF 総会議長)およびインドネシア産業貿易省副大臣による挨拶が行われ、続いて各常任委員会の委員長から 1 年間の主な活動について報告された。その後、当協会宮原会長より、東日本大震災に対するアジア海運団体からの弔辞および寄付に謝意を示すとともに、福島第一原子力発電所からの放射能漏れについて、根拠のない噂をもとに対応するのではなく、日本政府や IMO などの当局が発表する公式かつ正確な情報を十分かつ合理的に評価した上で対応するよう要請した。また、国際海運団体(BIMCO, ICS/ISF, INTERTANKO, INTERCARO)で構成されるラウンド・テーブル(RT)とのフォーラムでは、FASA 事務局長の Daniel Tan 氏がコーディネータを務め、海賊問題、温室効果ガス削減問題および船員労務問題について、RT と ASF の間で活発な意見交換が行なわれた。

上記会合終了後にはプレスリリース【資料 3-4-1-3】を採択し、その中で、ソマリアの海賊による船舶と船員への攻撃急増に強い懸念を表明した他、海難事故における船員の取り扱いおよび船員のビザ取得要件に関する一部国の対応に懸念を示した。更に、アジア船主はより安全でより環境的に堅実なシップリサイクルを推進していく上で重要な役割を担っていることを認識するとともに、国際会計基準(IFRS)については、定期用船契約をリースと見なすべきではないとの立場を明確にした。

次回第 22 回総会は、平成 24(2012)年 5 月に豪州船主協会の主催により、豪州・ポートダグラスで開催される予定である。

### 3・4・2 各委員会における検討状況

#### (1) SERC (シッピング・エコノミクス・レビュー委員会)中間会合

シッピング・エコノミクス・レビュー委員会(Shipping Economics Review Committee:SERC、当協会企画部が事務局)は、平成 23(2011)年 11 月 2 日に韓国・ソウルで第 24 回中間会合を開催し、ASF メンバー船協から 7 カ国／地域の代表 21 名が出席した。

同会合では、工藤委員長(当協会副会長)が議長を務め、太平洋およびアジア域内コンテナ航路の需給見通し、ドライバルク／タンカーの市況動向のほか、独占禁止法適用除外問題、環境問題および海賊問題について、率直かつ活発な意見交換を行った後、了解事項(【資料 3-4-2-1】)を採択した。(出席者は【資料 3-4-2-2】)

#### (2) SC(船員委員会)中間会合

船員委員会(Seafarers Committee:SC)は平成24(2012)年4月19日にフィリピン・マニラで第 17回中間会合を開催した。同会合では、中国、台湾、香港、日本、韓国、アセアンの各船協が出席し、Li Shanmin(中国船協)委員長の下、ソマリア海賊問題、改正STCW条約およびILO海上労働条約に係る各国の取り組み状況等について意見交換し、その中で、海賊事件の恐怖に晒され続けている船員とその家族の心的ストレスに深い懸念が表明された。

#### (3) SILC(船舶保険・法務委員会)中間会合

船舶保険・法務委員会(Ship Insurance and Liability Committee:SILC)は平成 24(2012)年 3 月 15 日に香港で第 17 回中間会合を開催し、中国、台湾、香港、日本、韓国およびアセアンの各船協が出席した。同会合では、Robert. A. Ho(香港船協)委員長代理の下、EU の対イラン制裁措置などに関して意見交換し、制裁により無関係の第三者に対して与える悪影響について強い懸念が示された。

#### (4) SNEC(航行安全・環境委員会)中間会合

航行安全・環境委員会(Safe Navigation and Environment Committee:SNEC)は中間会合を以下の通り開催し、Patrick Phoon(シンガポール船協)委員長の下、ソマリアの海賊問題や温室効果ガス削減問題など海上安全・環境保護に関連する諸課題について審議した。第 22 回会合終了後には、国連および IMO に対し、ソマリアの海賊問題の根絶に向け、緊急かつ強力に、断固たる措置を取るよう求める内容のプレスリリースを行った。

第 21 回中間会合(平成 23(2011)年 9 月 16 日 於シンガポール)

(インド、日本、韓国、台湾、アセアンの各船協が出席)

第 22 回中間会合(平成 24(2012)年 3 月 26 日 於シンガポール)

(中国、香港、インド、日本、韓国、台湾、アセアンの各船協が出席)

#### (5) SRC(シップリサイクリング委員会)中間会合

シップリサイクリング委員会(Ship Recycling Committee:SRC)は平成24(2012)年3月23日に台湾・Jiaosi Yilanで第15回中間会合を開催し、Bronson Hsieh(台湾船協)委員長の下、シップリサイクル条約およびそのガイドライン等について意見交換が行われ、より安全かつ環境上適切なシップリサイクル推進のための方策について引き続き議論していくことを確認した。同会合には中国、台湾、香港、日本、アセアンの各船協が出席した。

#### 3・4・3 ASF 会長会議

ASF 加盟船協会長で構成される「ASF 会長会議」は平成 23(2011)年度中に以下の通り開催され、シンガポール・シップ・セールス・フォーム(中古船売買契約書式)頒布権譲渡問題、海賊問題に関する ASF タスクフォース立ち上げ構想、および IMO オブザーバーステイタス申請問題等について審議した。当協会は、上記会合に参画し意見反映に努めた。

なお、IMO オブザーバーステイタス問題について、当協会は現行の ASF 事務局規模の維持を前提に同申請の支持を表明しており、ASF 事務局は当協会のスタンスでメンバー船協のコンセンサスが得られたとして、平成 24(2012)年 3 月に IMO 事務局に対してオブザーバーステイタスを申請した。本件は、同年 6 月の IMO 理事会で審議されることとなっている。

第 9 回会長会議(平成 23(2011)年 5 月 23 日、於:インドネシア バリ島)

出席者は【資料 3-4-3-1】の通り

第 10 回会長会議(平成 23(2011)年 10 月 18 日、於:シンガポール)

出席者は【資料 3-4-3-2】の通り